

碧海野会 令和6年度 第6回 役員会

令和6年9月14日(土) 午前10時
於 東高校 会議室

出席：浅井、神谷吉、都築令、大見和、都築裕、白谷

1 令和6年度碧海野会報「達」

- ・趣意書と同封で送付するものを改めて編集する。→次回役員会で議論する。
発行(発送)時期 令和6年12月(特別寄付申請の許可が出る時期の関係)
- 【同封物】50周年記念事業協力金依頼趣意書、協力金振込用紙、記念コンサートプログラム広告案内、住所確認依頼、碧海野会秋まつり案内 その他 【要検討】

2 令和6年度碧海野会総会・ホームカミングディについて

- ・反省及び改善点
〔総会〕
 - ・参加者数はよかった。
 - ・野球部OB会を懇親会の場で開いてもらえてよかった。
 - ・参加すれば恩師や同級生に会えるなど参加の動機付けが大切
 - ・懇親会のテーブルの配置で46回生の席が後方で、あいさつ等が余り聞けない様子だったので、前の方にした方が良かったのでは。(宴会場の中央奥をステージにする方法もある。)
- 〔ホームカミングディ〕
 - ・8名の参加。
 - ・1回生～5回生、46回生への案内(「達」と同封)とホームニュースの案内をしたが、紙面だけでは魅力が伝わりきらなかったか。
 - ・参加者の声を聞いてみると、誘われて参加した人が結構多かった。(7回生鶴見さんの声かけ)
- ・来年度50周年碧海野「秋まつり」について(内容・同窓生に来てもらう方法)
 - ・参加者は、同窓生と家族、特別会員。
 - ・前回学校で開催したときのソフトボールのように、チーム参加することで声を掛け合って参加者が増える工夫が必要。
 - ・「秋まつり」参加券を販売し、そこにキッチンカーの利用券をつける方法もある。
 - ・キッチンカーはできるだけ卒業生に声を掛けて、出店してもらえると良い。
→商工会議所にキッチンカーを出せる飲食店のリストがあるので白谷さんに入手してもらおう。
 - ・キッチンカー以外に、卒業生に物品販売してもらったり、会社・店のPRコーナーなど設置したりしたらどうか。
→ チーム参加の種目案(ソフトボール、グランドゴルフ、障害物リレー 等)を次回役員会に役員が考えて持ち寄る。

3 創立50周年記念事業について

(1) 総務委員会

- ・募金趣意書については、11月以降に全卒業生に発送。(特別寄付と一般寄付) 発行時期：今年12月
- ・募金額は任意。10,000円以上の寄付者には記念誌を贈呈(希望される場合)
- ・寄付依頼の案内カード(名刺大)を作成し、いろいろな場で寄付の依頼に役立てる。
- ・1万円以上の寄付者に、記念誌を送付するのに、住所情報が必要。(振込用紙による入金の場合、碧信から振込者の住所情報がもらえるかどうかはわからない。)
→課題：振込みしてくれた同窓生の住所をどう把握するか、方策を検討する必要がある。
- ・振込用紙に回生を記入する欄は必要。
- ・振込用紙の記入例を送るとよい。

資料1

(2) 記念式典委員会

- ・記念式典
 - ・期日 令和7年10月31日(金) 午前10時開始 安城市民会館 サルビアホール
 - ・記念式典会場の正式申し込み 10月2日(水) 令和7年10月31日と30日午後 ホールと控え室
【申し込み担当】神谷吉(都合がつかない場合、都築裕さんに依頼)
 - ・招待客のうちどのくらいの出席を見込むかが問題。在校生と職員の席を考慮すると、招待客の席は90席でぎりぎりとなる。(実出席者は、招待状を出した数の2/3ほどか?)

- ・招待客の控え室と会場に入りきれない職員の席を予約しておくことが必要。(場合によっては、在校生の一部が大会議室でオンライン参加する場合も想定する必要あり。) **資料2**
- 別室でリモート参加できるよう手配する。(神谷) Katchに実績あり。
- ・式典の進行は在校生が行う。
- ・当日、進行の総責任者を決める必要がある。(インカム(トランシーバー)の活用)
- ・「我無沙羅」の当日パフォーマンスはまだ確約できない状況。(控え室等の関係で連絡を取る。)

(3) 記念事業委員会

- ・メインテーマ：^{たつまき}「達巻起こせ！東高DNA!!～過去未来を紡げ青春時代～」(決定)
シンボルマーク **資料3**
今後、メインテーマ及びシンボルマークをどのように活用していくか？
- ・記念品の選定(進めてもらう。**現在案**ジャバラファイリングケース)
- ・碧海野体操、碧海野音頭 動画作成 在校生から実演者を募る。
- ・学校施設の愛称の募集(体育館(黎明館)や武道場(土風館)は看板をつけたらどうか。
- ・令和7年度総会(創立50周年記念総会)
 - ・内容は「碧海野秋まつり」の方向。キッチンカーに来てもらう。チケット制にするかなど今後検討
実施時期は秋(10月：東高の2学期中間考査週間の土曜日か日曜日)
 - ・創立50周年を知らせる横断幕を作成し、安城東高校正門の南側フェンスに設置する。
早めに作成して、50周年の周知を図る。
サイズを決めて、大見和さんに連絡する。(神谷)
シンボルマーク+「安城東高校は令和7年度(2025年度)に創立50周年を迎えます」
- ・記念事業に関わる費用の算出
(制服は、デザインがほぼ決定)

(4) 記念行事委員会

- ・記念式典後、生徒の探究学習の発表。(記念式典後は生徒の探究学習の発表のみ。1, 2年生が行う。)
- ・記念コンサート 出演者：宮川さん(5回生)、後藤さん(25回生)
期日：9月27日(土) 午後2時30分開演?(会場は、16時30分まで)
会場：ギャラクシープラザ マツバホール(500名)
卒業生、一般の方の参加希望も募る。
- ・チケット販売を行う(チケット代3,000円)。プログラムの広告を募る(趣意書に記載)。
- ・運営スタッフ(準備・当日運営)の検討
- ・マツバホールの正式予約は済み(白谷さん)
- ・令和7年7月に計画表提出
- ・今後、案内チラシ、プログラム作成、プログラム掲載広告の募集、スタッフ募集を行う。
- ・経費 出演料 お一人30万円(交通費を含む)×2名、ピアノ調律代、会場費、チラシ(ポスター)作成料、プログラム作成料、お花代、当日スタッフ謝礼 等
- ・プログラム 宮川さん、後藤さん それぞれの演奏時間 30分×2(計60分)
休憩15分
ジョイントコンサート 45分
- ・必要経費以上に参加チケットが売れた場合、その超過分は寄付する必要がある。(文化センターの利用規約)
- ・広告収入は、50周年記念事業会計に入れる(広告料振り込み用に口座をもう一つ作る)
- ・コンサート当日、開演に先立って「東高の50年の歩み」を紹介する動画(パワーポイント)を流す。
(放送部に作ってもらえないか)
- ・例年高校で行っているGLSセミナー(講演会)を創立50周年記念の冠をつけて行う。
- ・7月10日(木) 午後(13時30分開演予定) 安城市民会館 サルビアホール
九州大学大学院教授 中尾 実樹さん(2回生)の講演
- ・記念行事に関わる費用の算出

(5) 記念誌委員会

記念誌の編集方針・・・創立から50周年を網羅する。
活躍中の卒業生の特集やテーマ別特集(修学旅行、国際交流、施設の変化等)の検討。
在校生にも配布。

年度毎の記録の編集は常任幹事に依頼。

碧海野会ホームページに画像の投稿ができるシステムを設置済み。

・文化祭・体育大会の様子は各回生のページに入れる。

過去の学校行事のスライド写真が見つかったので、デジタルデータにしてもらう。

・活躍している卒業生のページは一人あたり見開き2ページで5名ほどとする。

対象者として、杉浦マコトさん（厚生病院）、石川さん（教育長）

杉浦俊彦さん（4回生：農林水産大臣賞）のインタビューは完了（4回生 浅井正さん）

JTEKTの近藤さんはまだ連絡が取れず。

これから、さらに候補者を挙げて、インタビューを進めていく。

4 その他

・わじま・あんじょう友の会の会則改定について 資料4

意見があれば、浅井会長まで。

次回 令和6年 10月26日（土） 時間 午前10時開始 場所 安城東高校会議室
--

【宿題】 碧海野秋まつり チーム参加の種目案